

四万十町教育委員会会議録（令和3年8月定例会）

1. 日 時 令和3年8月10日（火）午前9：00～午後13：15

2. 場 所 四万十町役場本庁東庁舎 2階 町民活動支援室

3. 出席者

教育長 山脇光章

教育委員 横山順一 坂本維子 佐々倉愛 岡 澄子

事務局 教育次長 浜田章克

生涯学習課 課長 林 瑞穂

学校教育課 課長 岡 英祐 副課長 東 孝典

係長 川下房代

教育研究所 所長 野村泰子

4. 傍聴者

0名

5. 日 程

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 会議録署名委員の指名 (佐々倉委員)

(4) 議題

①議案第1号 令和4年度以降に使用する中学校教科用図書の決定について

②議案第2号 指定校区外就学申請の取り扱いについて

③議案第3号 令和3年度就学等教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

④承認第1号 専決処分の承認について（学校薬剤師の委嘱（変更））

⑤議案第4号 区域外就学の協議書の取り扱いについて

(5) 協議事項

①令和2年度四万十町教育委員会の行政の執行状況の点検・評価について

(6) 報告事項

①適正配置計画について

(7) その他

①保育所訪問について

6. 議 事

教育長 : それでは、ただ今より令和3年8月定例会を開催します。

それでは、日程4、議題に入りたいと思います。まず初めに、追加会議資料の④承認第1号を先に諮りたいと思います。承認第1号 承認第1号 専決処分の承認について（学校薬剤師の委嘱（変更））、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局より、承認第1号 承認第1号 専決処分の承認について(学校薬剤師の委嘱(変更))、説明する。)

教育長 : 承認第1号について、説明がありました。薬剤師の変更ということで、8月7日に変更をしたものでございます。専決処分の理由については、事務委任規則第3条の規定に基づき専決処分を行ったということです。この件について何かございませんでしょうか。大丈夫ですか。

全委員 : はい。

教育長 : 承認第1号 承認第1号 専決処分の承認について(学校薬剤師の委嘱(変更))、はご承認いただけますでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続きまして、議案に移りたいと思います。議案については順番どおり進めたいと思います。まず初めに、議案第1号 令和4年度以降に使用する中学校教科用図書の決定について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局より、議案第1号 令和4年度以降に使用する中学校教科用図書の決定について、説明する。)

教育長 : 議案第1号については、中学校の社会、歴史の教科書です。前回、四万十町におきましても東京書籍を決定したわけですが、高岡地区でも全会一致で東京書籍になったという報告を受けました。この件についてご意見等ございましたら、お願いをいたします。特にないでしょうか。

高岡地区でも全員の賛成をもって承認されました、東京書籍で決定でご確認をお願いします。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、議案第2号 指定校区外就学申請の取り扱いについて、を議題といたします。事務局より説明提案をお願いいたします。

(事務局より、議案第2号 指定校区外就学申請の取り扱いについて、説明する。)

教育長 : 議案第2号 指定校区外就学申請の取り扱いです。ただ今、説明がありましたとおりでございます。この件についてご意見ご質問等あれば、お願いをいたします。

岡委員 : 期間は8月16日からとなっておりますが、実際に住民票なりが異動したときからなるのでしょうか。予定なので、その日に転居するとは思いますがどうでしょうか。

川下学校教育係長 : 転居予定日になります。転居の届け出が転居以降でないと住民票が移せないということで、まだ移ってない状態です。保護者から16日付で転居されると確認をしているところです。

浜田教育次長 : 今の段階ではあくまでも予定ですが、16日付で異動することがほぼ間違いないだろうということで議案を作成させていただきました。日がずれたり、また転居もいかなければご報告を差し上げたいと思います。

教育長 : 保護者からの、転居日については報告を受けたもので記載をしております。他にございませんでしょうか。

議案第2号 指定校区外就学申請の取り扱いについて、事務局の説明提案のとおり承認していただけますでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続きまして、議案第3号 令和3年度就学等教育支援委員会委員の委嘱及び任命について、を議題とします。事務局より説明提案をお願いいたします。

(事務局より、議案第3号 令和3年度就学等教育支援委員会委員の委嘱及び任命について、説明する。)

教育長 : ただ今、議案第3号について事務局より説明がありました。この件について何かございましたらお願いいたします。

特段ございませんでしょうか。毎年、変更もさせていただいております。

それでは、議案第3号 令和3年度就学等教育支援委員会委員の委嘱及び任命について、承認していただけますでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続きまして、本日の追加会議資料に移りたいと思います。議案第4号 区域外就学の協議書の取り扱いについて、を議題とします。事務局より説明提案のほうをお願いいたします。

(事務局より、議案第4号 区域外就学の協議書の取り扱いについて、説明する。)

教育長 : 議案第4号について事務局より説明をさせていただきました。8ページにおける就学申請書が保護者から黒潮町の教育委員会に届き、黒潮町から四万十町に協議があった件です。小休にします。

(小休止)

教育長 : それでは、正常に戻したいと思います。

議案第4号 区域外就学の協議書の取り扱いについて、ご意見等ございましたらお願いをいたします。

議案第4号については特段、異議等はございませんでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 議案第4号 区域就学の協議書の取り扱いについて、は保護者、黒潮町教育委員会から協議のあったとおり、本教育委員会として承認の下、協議を進めたいと思います。以上で日程4議題については終了をいたします。

続きまして、日程5協議事項に移りたいと思います。協議事項 ①令和2年度四万十町教育委員会の行政の執行状況の点検・評価について、を協議事項といたします。事務局より説明をいたします。

(次長より、協議事項 ①令和2年度四万十町教育委員会の行政の執行状況の点検・評価について、説明する。)

教育長 : これから各項目について次長のほうから進めていただきながら、我々で評価に入っていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 評価も多数決ではなしに、順番に各委員に項目ごとでいきますので、そこで委員の評価意見をお聞きして全員で決めていきたいと思います。それでは、よろしく願いをいたします。

浜田教育次長 : それでは、4ページ目の教育委員会の活動です。ここも3か所ぐらい赤字訂正をさせていただいています。「諸行事への参加」というのを「諸行事等」という書き方にさせていただいて、「積極的に参加しました」ということにしています。それから、「点検といった性質が強い」という文言を「評価というよりも点検という性質が強い」というように改めています。(1)の教育委員会会議の運営改善の中で、教育委員会会議の開催回数です。これは、開催した定例会、臨時会の回数等を記載させていただいたところです。事務局としては、概ね目標は達成できたか、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという2つじゃないかなということでご提案をしております。

教育長 : 私からいきたいと思います。開催回数ですので、昨年度、記載のとおり定例会、臨時会開催されて議論等もさせていただいておりますので、概ね目標は達成できたという評価をしております。これについてどうでしょうか。問題ないですか。

全委員 : はい。

教育長 : それでは、①については、概ね目標は達成できたというところでしたと思います。

浜田教育次長 : 次、②です。教育委員会会議の運営と工夫ということで、会議の効率的な運営等活発な発言ができるような雰囲気で開催することができたというふうにしております。それから、会議の周知、会議録の公表についてはホームページ等で行っているということにしています。これについても先ほどと同様に、概ね目標は達成できたとか、さらに充実の必要があるという2つじゃないかなということでご提案をしております。ご協議をお願いします。

教育長 : 続いて、横山委員からお願いします。

横山委員 : 昨年度の評価を参考にすると、内容的にもそう変わってはいませんし、昨年の評価では最上段2番目のところに丸があって、そういう点からしても、自分は概ね目標は達成できたとしております。

教育長 : 教育委員会会議です。概ね目標は達成できたというところで、令和2年度の評価をしていきたいと思います。

岡委員 : 以前は場所が常に本庁でやっているということで時間帯とかで傍聴がしにくいという意見がありましたが、昨年度は全くなかったのでしょうか。本庁ばかりでやると傍聴に行きにくい、昼間は仕事しているので夜間にやって欲しいという意見が以前はありましたが、そういう意見は昨年度はなかったかどうか確認です。

教育長 : 昨年度、そういうご意見はなかったです。開催場所自体も中間の大正でやる案もありましたが、昨年は聞いておりませんでした。

佐々倉委員 : 多分、心境としたらなくはないんだと思います。その前の年は出張会議をやったのですが、コロナでそれどころじゃなかったっていう雰囲気だと思います。

浜田教育次長 : 確かにコロナはあると思います。

教育長 : 自己評価自体は、概ね目標は達成できたというところで行きたいと思います。この件についてはまた次回以降についても内部で協議をしていきたいと思います。

概ね目標は達成できたというところに行きたいと思います。

(2)に行きたいと思います。

浜田教育次長： 事務局との連携に関して、これは事務を効率的に管理執行するために不可欠になる事務局との連携について対応しています。連絡調整を適宜行ったということと、情報意見交換については状況に応じて行ったという記載をしています。

教育長： (2)の①、事務局との連携です。この件について坂本委員お願いします。

坂本委員： 連携は取れてたということで、概ね目標は達成できたということにしています。

教育長： 他にご意見ございませんでしょうか。

全委員： はい。

教育長： 意見交換等も連携に努めたというところで、概ね目標は達成できたというところの評価です。よろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： (3)に行きたいと思います。

浜田教育次長： 教育委員の自己研鑽で、研修会への参加状況です。自己評価の上に米印を載せてますが、コロナの影響で中止となった研修会等があって、例年と比べると参加した回数は少なくなっていますが、できる限り開催された研修会等には参加もいただいていますし、学校訪問、研究授業、教育現場等にも行っていただいて自己研鑽に努めていただいていると思いましたので、上の2つということをご提案させていただきます。よろしく願います。

教育長： (3)の①についてです。佐々倉委員どうでしょうか。

佐々倉委員： これもコロナの影響は大きかったんですが、できるものはできたと思うので、概ね目標は達成できたでいいんじゃないかなと思います。

教育長： どうでしょう。

岡委員： これは、令和2年度の評価ですよ。先ほど次長から説明があった全国の研究大会、研修会は開催されてないですよ。2年度は基本的にコロナの影響を受けて、あとに書くなりされてるので、なかったものをここに載せるのはどうかと思いました。「参加し」になってるので、実際、開催がなかった、中止ということがあったので。研究授業への参加等も多分、学校訪問以外でそういう機会が研修としてあったのかどうか、コロナの影響でできなかったものは記載をすべきじゃないかなと思います。

横山委員： 米印のところに、参加の機会が少なくなったというふうに変えてはいるんですね。

岡委員： 高岡地教連という呼び方ですが表記として正式名称がいいかなと思いました。

浜田教育次長： 誰が見ても分かるように修正したいと思います。

教育長： 岡委員からもありましたとおり、全国とか県については、あらかじめ中止になったものもありますし、急きょ中止になったものもあります。この点については事務局で、文面については修正をさせていただきたいと思います。主催者側で中止になったところもありますので、その点も含め、概ね目標は達成できたというところの評価で文面も修正をさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： ありがとうございます。

浜田教育次長： 次です。学校訪問です。コロナの影響で時期をずらして実施をしています。全ての学校に訪問していただいて、管理職等との協議、それから学校の状況等も確認をいただいたところです。併せて、学校訪問の中で例年、出席していた運動会、体育祭、卒業式は出席しなかったという書きかたにしています。ご検討お願いします。

教育長： (4)の①、②を一緒に行きたいと思います。

浜田教育次長： ②の所管施設です。認定こども園、保育所、子育て支援センターも訪問をして施設見学等を行ったというふうにさせていただいています。それから、研究所、補導センターについても訪問をして説明を受けて活動状況なんかも確認をしたという書き方にしております。2件についてご検討をお願いします。

教育長： (4)の①、②合わせて一緒に評価をしていきたいと思います。学校訪問について、岡委員をお願いします。

岡委員： 人数も制限されてる中で、できる限りということで訪問はできたと思います。できる限りの出席ができたということで、概ね目標は達成できたでいいかなと思います。

教育長： ご意見ございませんでしょうか。②についても、岡委員、お願いします。

岡委員： 保育所等についても同様に訪問ができましたので、目標は達成できたということでいいと思います。

教育長： ①、②についても、概ね目標は達成できたというところの評価でいきたいと思えます。よろしいでしょうか。

全委員： はい。

浜田教育次長： 2番、教育委員会が管理執行する事務というところへ移りたいと思います。教育長に事務委任をせずに教育委員会の動きによって決定する事項が規則によって12項目定められています。この項目について計画し実施をするということについて評価をしていただきたいということです。ただ、12項目の中に実施をしていないものがございます。この場合は、該当する事象はなかったということで評価をするようにしています。前回お配りした報告書の中では事象ではなく、事例という書き方をしていますが、事象と訂正をさせていただいています。

まず、教育行政の基本方針に関することということで、教育行政方針、それから学校施設長寿命化計画を策定という2つを挙げています。これは、四万十町が進めてきた基本的な考え方、それから教育施策について具体化、明確化したものということで2年度の実績という形で載せています。ご検討をお願いします。

教育長： (1)教育行政の基本方針ですが、基本的なところはできたのではないかと、それから、学校施設の長寿命化計画については四万十町のほうで策定をしています。

浜田教育次長： 別にお配りをしています、学校施設長寿命化計画を、ご覧ください。第1章に長寿命化計画の背景と目的という記載をしています。国で平成25年に策定されたインフラ長寿命化基本計画を踏まえて、平成29年に四万十町では公共施設等総合管理計画を策定しています。その間に文科省においても学校施設の長寿命化計画の策定にかかる手引きや、29年の3月には計画策定にかかる解説書等も示されており、四万十町公共施設等総合管理計画の個別計画として、この計画を3月に策定しており、本日、遅くなりましたが、お手元にお配りをさせていただいています。これは設置者である四万十町として策定をしたもので、今後、学校施設等の建て替え等が出てきますので、それに基づいて詳細については、教育委員会の中で検討していく必要があるものです。

教育長： 学校施設の長寿命化計画については、次長から説明がありましたように町全体の公共施設の中で学校施設を抜き出した部分です。基本的に耐用年数を基本に大規模改修や建て替えなど各施設の予定を計画したものです。今後、この計画を参考に学校施設について、適正配置も含めた部分で協議は進めていくという形になろうかと思っています。また、長寿命化計画の中身については時間のあるときに見ていただきたいと思っています。

以上、教育行政の基本方針というところで、一定の決められたことはできてますので、概ね目標は達成できたという評価にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

横山委員： 長寿命化計画の中の7ページの4つの基本的方向性、基本施策という中で、国の教育振興計画が25年ぐらいに作った項目で今は国も第3期になって項目が変わっていると思います。国を参考にして町が26年度に振興計画作ったと思うんですが、来年になったら国がまた第4期になって、5年ごとに変わってきているので。できれば、四万十町の今のあたりぐらいから振興計画の4つの基本の社会を生き抜く力や、未来へ飛躍、実現する人材とか4つの基本施策の見直しも今頃からしていったほうがいいのではないかとこの提案です。

教育長： おっしゃるとおり、町の教育振興基本計画については4つの方向性の中でやっています。平成26年度を基本ベースにずっといっていますので、今後、5年、計画を伸ばしましたので、次に向けて今から国の動向も含め注意をして、4つの基本方向と、そこにぶら下がるものについて整理をしていかなければいけないと思います。この計画については、現段階の教育振興基本計画を踏まえたもので載せています。若干、今の国との基本的なテーマなどにずれているところがあるかと思っています。長寿命化計画については、現在の適正配置計画の部分も踏まえ入れています。言われたとおり、教育振興基本計画の基本的なところについては早い段階で事務局でも次に向けた部分で見たいと思います。

他、ございませんでしょうか。

それでは、自己評価については、概ね目標は達成できたというところでしたと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： ありがとうございます。

浜田教育次長： (2)教育委員会に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関するということで、ここについては、該当する事象はありませんでしたとしています。この項目については、教育委員会の会議規則等の改正があったら出てくるのかなというふうに思っていますが、昨年度はありませんでした。

教育長： 2の(3)教育委員会規則その他、教育委員会の定める規程の制定また改廃に関するこの評価でして、件数のとおりですが、横山委員、お願いします。

横山委員： 昨年度、精力的に見直しをやっているんじゃないかと思っています。概ね達成できたというところでしょうか。

教育長： ご意見ございますでしょうか。概ね目標は達成できたというところの評価をさせていただきますと思います。

浜田教育次長： (4)です。教育委員会の所管に関する学校、それからその他教育施設の設置改廃に関することです。これは適正配置計画に基づいて進めてきた興津中と窪中、それから北ノ川中と大正中の統合のことを記載しています。この4月に興津中と窪川中が統合したということと、来年4月の北中、大正中の統合を決定したということとしております。

教育長： 坂本委員お願いします。

坂本委員： 北ノ川と大正のことなんですが、1年延期ということに決定したということで捉えて、概ね目標が達成できたにしています。28ページの学校適正計画があるんですがここで充実させるという内容になるのかなとか思います。目標は達成できたに私はしています。

浜田教育次長： 本来、ここに記載しないといけないのは、家地川小学校の廃校の分だと思っていますので、修正をさせていただきます。必要に応じて学校施設を廃校にしたという書き方にしたい

と思います。

教育長 : (4)の項目の取り扱いについて、根本的に変えたいと思います。設置及び改廃に関することですので、ここはどうしましょう。

浜田教育次長 : 理由を書いて、家地川小学校を廃校にしましたという記載にさせていただきたいと思います。

教育長 : 適正配置が、あとにありますので。設置及び改廃ですので、適正配置、統合が進んでも休校ですので、休校から家地川小のように次の目的のために廃校にして、こういう利活用ができたと変えたいと思います。

次、7ページの(5)です。

浜田教育次長 : 所管する学校その他の教育機関の職員の任命、その他の人事関係ということで、まず、町職員、教職員等が適正な人事配置しましたという大きなくりをした後で、町職員の人事異動の関係、それから28年度から配置しています教育対策監、それから窪川中学校教員の大学院への派遣、それから県教職員の人事異動についての内申関係を記載しています。それから合わせて、教育長が新たに就任をしたことに伴って、職務代理者を決定したという内容としています。

教育長 : (5)について、坂本委員お願いします。

坂本委員 : これは、概ね目標は達成できたというところでどうでしょうか。

教育長 : 他、ご意見ございませんでしょうか。(5)の項目については概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思います。

(6)に移りたいと思います。

浜田教育次長 : (6)については、今、行っている自己点検・自己評価の関係です。昨年度については、令和元年度の自己点検・自己評価を行って議会へ報告をするとともに、ホームページでも公表したという内容を記載しています。

教育長 : (6)について、佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員 : 特にホームページに載せたことで、そこへのご意見とかはなかったんですか。

教育長 : なかったです。議会への報告はしましたが、議会からもなかったです。そもそも議会が予算全体の決算審査など議会へは報告をしています。住民の方からも含め、公表に対してはありませんでした。

佐々倉委員 : 概ね達成できたでいいと思います。

教育長 : (6)、概ね目標は達成できたというところの自己評価でよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

浜田教育次長 : 続いて、(7)法29条の規定に基づく意見の申し出に関する事、それから議会で議決を得るべき議案にかかる関係です。法29条の関係については特になかった。修正をしているところがあります。条例の整備というところを条例という形に書き切って、補正予算の関係で6月の補正予算、抜かっていたので追加しています。内容については、条例の一部改正5件、補正予算が4回、当初予算、それから工事の請負契約の関係です。議会の議決が要るものは5、000万以上のものは、昨年度においては該当するものではありませんでした。(7)について岡委員お願いします。

岡委員 : 必要なことはできていると思いますので、概ね目標は達成できたでいいと思います。

教育長 : この項目についても、概ね目標は達成できたという自己評価でよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

浜田教育次長 : 続いて、幼稚園、小学校、中学校の通学区域の設定又は変更に関する事です。この項目については以前までは校区外就学、区域外就学の内容が記載していましたが、通

学区の設定と変更という形になっています。通学区域に関する規則に基づいて定められている通学すべき学校の指定についての項目だと思いますので、若干、書き方を変えています。本年度については、家地川小学校の廃校に伴って同校の通学区域を川口小学校に変更しています。また、興津中学校の通学区域にある者については、休校中は窪川中学校に通うという形に改正をしています。「なお」ということで、規則で指定する学校以外の就学、それから区域外就学についての承認件数等を記載しています。

教育長 : (8)については、説明があったとおり、規則の改正、そして区域外就学については教育委員会でも保護者の意向を十分に尊重し承認をしていますので、自己評価については、概ね目標は達成できたというところをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて(9)です。

浜田教育次長 : 教科用図書の採択に関することです。今年度から使用しております教科用図書について、高岡地区教科用図書採択協議会の検討結果をもとに採択する教科用を決定したという記載をしています。

教育長 : 昨年度、中学校用教科書で選定協議をいたしました。これについて、横山委員お願いします。

横山委員 : これについては、新学習指導要領に適合した、生徒が主体的に学べる教科書を念頭に、熱心に公正に本町でも選定ができたのではないかと思います。概ねは除けても構わないぐらい目標は達成できたと思います。

教育長 : この件については、目標は達成できたという評価で十分ですが、項目上、概ね目標は達成できたという評価でいきたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

浜田教育次長 : 続いて、10番です。附属機関の委員の任免等に関する事ということで、昨年度に教育委員会の附属機関である委員会等に委嘱又は任命をした委員等について記載をしています。15の委員等について新たに任命、委嘱等をして事前に承認もいただき、事後になる分については報告をして承認をしていただいたところとあります。

教育長 : 附属機関の委員の任命等についてですが、坂本委員お願いします。

坂本委員 : 目標は概ね達成できたということでいいと思います。

教育長 : 概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

岡委員 : これは、教育委員会の委嘱に関わる分なので、補導センターとか少年補導員は町長の委嘱ですよね、その辺はどうでしょうか。

浜田教育次長 : 任命権者が違う分は削除させていただきます。

教育長 : 少年補導員などについては、任命権者が町長になりますので、その分は削除させていただいた上で、概ね目標は達成できたというところよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : (11)(12)については、事象がなかったというところで(11)(12)について何かご意見等ありますでしょうか。ないでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、(13)についても町指定等については、指定又指定の解除についてはなかったというところとあります。

岡委員 : 4項目上げてますが、これは必要ないんじゃないかと思います。

教育長 : どうでしょう。わざわざ0件をこのように載せるのはどうか。

岡委員 : 他にも項目として上げていけば、いっぱいあるのでどうかなと思いました。

教育長 : ここは文章だけで、指定及び解除の件数案件はなかった、なぜ、なかったか。そしてこの件数自体もここには上げずに、文章を少し見直しさせていただきたいと思います。

浜田教育次長 : 「次のとおり」だけ除けさせていただきます。

教育長 : 続いて、(14)をお願いします。

浜田教育次長 : 教育委員会が特に重要と認める事項ということで、いじめ問題対策連絡協議会、働き方改革推進委員会、教育委員会規定に基づく表彰のこと、3点を記載をさせていただいています。いじめ問題対策連絡協議会については毎年、定期に行っているもので、関係機関、警察等、児相等と町と協議を行っているものです。働き方改革推進委員会については、現在、取り組んでいる教職員の働き方改革に関して課題の共有、それから推進方法の協議等を行っています。表彰については、奨励賞、功績賞、功労賞、この場でご検討いただいた結果、個人、団体等表彰をしたということに記載しています。特に重要なものとしては、この3点を記載しています。

教育長 : (14)について、佐々倉委員をお願いします。

佐々倉委員 : 概ね達成できたと思いますが、重要と認める事項というのが、この3つなのかというのがありますができたと思います。

教育長 : この3つについては、できたと思いますが、特に重要と認める事項ですのでこの後の項目と議会でというところで上げてはいます。優先すべき事項があるとは思いますが、(14)については、概ね目標は達成できたという評価にさせていただきたいと思います。

ここで休憩を取りたいと思います。35分まで休憩を取りたいと思いますのでお願いします。

(小休止)

教育長 : 休憩前に引き続き会議を開きたいと思います。

報告書の10ページからいきたいと思います。その都度、ご意見などあった場合は質問等、お願いをいたします。

岡委員 : 疑問に思ったのですが、各項目で事業の目的があって、評価は目標を達成できたですよね。目標と目的は違うので、目的の中に目標も含まれている記載もあるので、その辺、整合性が取れる何かにしたらどうかなと思いました。

横山委員 : 振興計画の指標も見比べながらやりましたがなかなか難しいです。

坂本委員 : 難しかった。

教育長 : 難しいですよ。

坂本委員 : 目的を読んで、課題を読んで、課題に対して目標をもう一度、目的で評価、結局、自己評価を付けたというところがすごく迷ったところがあります。

岡委員 : 課題も、できてない課題なのか、継続してやっていけない課題の書き方になっているところもあり、どうしても記載はばらばらになるとは思いますが、記載が統一されていないように思います。これを課題としていいのだろうかというような、出来ているかと思うこともあったりします。

坂本委員 : これは一応、ここまではできたんじゃないかということで評価をさせてもらいました。

- 教育長 : 一番最初に事業の目的がありますので、目的、目標でありますのでこれが達成できたかどうかという評価になります。その辺の文面で難しいところがありますがその辺についてはどうでしょう。
- 浜田教育次長 : 目的のところへ、かっこ書きで目標を入れようかと思えます。
- 岡委員 : 目的の中に目標がいっぱいあるので。くくりが大きいと、一つの目的に対して目標が一つのわけがないですが、当然、理念ではこの目標でということになるのかと思えます。
- 坂本委員 : 今年度はできた、できてないというのを課題で評価をしたというところですか。
- 教育長 : そのご意見も含め、事務局で修正なり改善をさせていただきたいと思えます。難しいとは思いますが事務局に委任をお願いいたします。
- 浜田教育次長 : 取りあえず、かっこ書きでは載せさせてもらおうかと思えます。
- 教育長 : それでは、10ページ、3、教育委員会が管理執行、教育長に委任する事務で、(1)学校教育に関すること、①学力の定着及び向上のところですか。ここも非常に評価しづらいところもありますが、岡委員お願いします。
- 岡委員 : 事業の実施状況、成果を読ませてもらう限り、概ね目標は達成できたということで、課題のところ、授業改善につなげていく必要がありますと継続していく文言を、入れたらどうかと思いました。
- 教育長 : 他、委員さん何かございますでしょうか。よろしいですか。課題は明らかに各学校でしていると思えます。実際、学力向上につながったかどうかは、昨年度、実施をしておりますので難しいところがあります。授業改善等に継続していく必要があるという課題で締めくくっていますが、この件についても、概ね目標は達成できたというところで評価させていただいてよろしいでしょうか。
- 浜田教育次長 : 「継続して」をどこかに入れます。
- 教育長 : 続いて、2番、学力到達度把握事業、CRTについて、ここは赤字で目的のところを修正させていただいています。
- 実施状況、成果のところ書いていますが、各学校で工夫して取り組んで課題点等も抽出して、次への検証、改善へつながっていると思えます。自己評価、概ね目標は達成できたというところの評価としたいと思えますが、ご意見ございますでしょうか。
- 全委員 : はい。
- 教育長 : (3)外国語教育推進事業です。この件について、横山委員お願いします。
- 横山委員 : いろいろコロナの関係で。概ね目標は達成できたと思うんですけど、課題からすると、目標達成に向けてかなと思えます。コロナの関係とか影響とかという部分があるので、どうなんでしょう。概ねでいいかなと思えます。
- 教育長 : どうでしょう。事業の実施状況の成果、3つ目の黒ポチのところですよ。
- 横山委員 : 成果の上2つのところは昨年と一緒なんです。
- 教育長 : 本年度は実施できませんでしたというところですね。
- 岡委員 : 課題なのかなと思ったのですが。
- 教育長 : 学校現場では、専任の図書の教諭もおりますし、各学校でも事業自体は進めていただいております。
- 岡委員 : 成果のところの3つ目のポチ、要は課題が明確になるまではいったけど、授業改善の具体的な手立てまでには取り組むことができません、コロナの影響ですけど、そういう記載をしていると、概ねできたというのはちょっと無理かなと思えます。
- 教育長 : 授業改善の具体的な手立てまでには取り組むことができたかどうか。

- 岡委員 : 各校ではできたということですね。すみません、自分の読み間違いでした。
- 浜田教育次長 : 元年度はできたけど、やってないということです。
- 教育長 : 昨年度ということは元年度ですね。
- 岡委員 : これをあえて書くかなと思ったんです。実際なら書くまでして初めて成果につながっていくのかなということになるのかなと思います。
- 横山委員 : 昨年も同じ成果なので、ちょっとどうかなと思って、2番目のところというような感じもします。
- 浜田教育次長 : 課題の先進校視察がコロナウイルスの関係で未実施となったと入れて、3つ目の文字全体を消そうかと思っています。
- 岡委員 : 元年度はほとんどできるまでいっていたのに、今年度はコロナの影響とはいえ、できてないことを達成できたというのは、概ねということですね。
- 教育長 : これも授業改善、具体的な手立てまでに取り組むことが目標ならば、コロナの影響でできなかったといっても、各学校でやるべきというところもある。
- 岡委員 : それならば、次長が言われるように除けてたらどうでしょうか。
- 教育長 : 3つ目のポチを修正させていただいた上で、概ね目標は達成できたというところでのよろしいでしょうか。
- 全委員 : はい。
- 教育長 : (4)の中高一貫教育推進事業について、坂本委員お願いします。
- 坂本委員 : 課題もありますが、目的を見たときに、概ね目標は達成できたと思いました。
- 教育長 : 四万十高校を中心とした中高一貫教育推進事業です。ご意見のとおり、概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思います。
- 岡委員 : 課題のところ、下の2つをまとめたほうがいいのではないかなと思います。内容が違うのでということもあるかもしれませんが事業自体の趣旨で中高一貫教育の意義が違う。
- 教育長 : 1項目にまとめたいと思います。
5番、理科教育振興事業です。これについて、佐々倉委員お願いします。
- 佐々倉委員 : 目標でここまでの数値的目標があれば分かりやすいんですが、過去の評価のときには数値的な目標を年度初めとかに確認をしていたわけではないので、できました、到達してません、というのを評価させていただいているのが、すごい難しいと思います。例えば、これだと教育の振興を図るという目的のために、金額を執行することがひとまずの目標であったりとか、理科の学テのテストは平均以上、全学校が上回ることを目標にするということが、今年度の5月の学テでなどがあれば、ぱっと付けれるとは思うんです。難しいと思うんですが課題のところに、「ただ」っていうので国の基準を下回っているためというのを書いてもらってますが、全てが国の基準を下回ってたら課題がさらに充実させる必要があるという評価にするのか、四万十町としてはすごく深まったという結果なのかなど目標の設定をこれはできない状態で評価をしなければいけない状況だと思うので難しいです。
- 教育長 : これ自体を、例えば目的なり目標に、理科教育の振興のために、これ国の補助事業ですので、教材を整備をするという目標にすれば、もっと簡潔になります。基準に基づいた整備を行う、行ったか、行ってないかの評価なら、もっと簡単にいきますけども、理科教育の振興をどういうふうに評価するかになると難しいところがあります。
- 横山委員 : 課題も毎年、同じような課題で、これは全国基準、やっていったら上回るのですか。上回るの難しいですか。

- 岡委員 : 結局、国の補助だけでは追いつかないのではないんじゃないですか。
- 佐々倉委員 : 整備状況が下回っているのは、どういうことですか。
- 東学校教育副課長 : 国の補助で年度年度、整備の金額、備品台帳には積み上げる形で備品配備しながら、その中で今、国の基準と比べると下回っているという書き方というか、基準の判断という形になっています。先ほど言われたように、四万十町、小学校12校、中学校4校ある中で、3年間に1回はこの事業を使うような形で計画的に補助をして整備してる状況なので、なかなか国基準を上回るような状況には今のところはなっていないというのが現状だと思います。
- 佐々倉委員 : それは逆に言うと、理科の整備は器具ということですか。
- 東学校教育副課長 : そうです。
- 佐々倉委員 : 器材の使用の頻度だったり人数だったり、そういうのが国と比較すべきものなのかということもあります。こちらは小規模校が多くて、例えば大規模校と比較して、どんどん消耗している器材と同じように、こちらを整備していかないといけないのかどうか。そこと比較して判断するというものなのかというのはありますね。
- 教育長 : 国の基準自体に学校自体が、それほど要望もないところもあります。3年に1回で順繰りにやっているということ自体が理科教育の振興にあたって問題、課題があって、一財を継ぎ足せばできるので国の基準を下回っていること自体が本質的な課題になるうかと思えます。
- 佐々倉委員 : 例えば、ここに先生が、こういうふうにしてほしいって言っているのに、そこには予算が足りず到達できませんでしたというものがあれば、もうちょっと頑張りましょうと思うんですが、目標の設定の仕方ですね。
- 岡委員 : 決められた予算の中でしか現状で多分、できていないところ、それを課題としていいのかどうか。この表現が妙に、目標達成できたと、その目標が、先ほど佐々倉委員が言われたみたいに、目標は何なのかといとところに返ってくる。
- 浜田教育次長 : 目標については、理科教育の振興を図るいうのを一番前に持ってきて、この事業自体は補助金を出す事業なので、補助するという書き方にして、学校数が多い中で計画的に進めることができた成果にさせてもらって課題については国の基準は除けて、今後も計画的に進めていく必要があるか、継続してやっていく必要があるという書き方にさせてもらったらどうかなと思います。
- 教育長 : 課題も今後も計画的に進めていく必要があるというところで、簡単でいいのではないのでしょうか。どうでしょうか。
- ここは、先ほど言われた次長の案のと通りの修正をさせていただいた上で、概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。
- 教育長 : 続いて、(6) 教育研究活動です。これについて、岡委員お願いします。
- 岡委員 : 課題のところで、研修で得たことが学校現場で活動につながっているとはいえない状況があります。昨年度も一緒かもしれませんが、前段で書いている目的、今年度の実施状況、これはプログラミングの件ですよ。そことこの課題とがしっくりこない。
- 教育長 : リンクしてませんね。
- 浜田教育次長 : 活用の状況にばらつきがあるということで、いいですか。
- 岡委員 : はい。
- 教育長 : 活用はされている。

浜田教育次長： 成果と合うように検討させてください。

教育長： 課題のほうを修正させていただいた上で、概ね目標は達成できたというところで評価させていただきたいと思います。課題の文言は修正させていただきます。

7番、学習支援員の配置事業ですが、これは、興津小学校に学習支援員を配置しています。他に要望がありますか。

岡委員： 要望はあるけど、いないと書いている。

教育長： 配置要望はあるのですか。

東学校教育副課長： 要望はあります。

岡委員： 資料編で、直していただいている気もしますが、以前もらった7ページに配置事業で、各校の実態に沿って、1校しか配置してないんですね。各校はないのかなと思いました。

教育長： 放課後や長期休業中には放課後子ども教室等はある。それ以前に学習支援員について要望があるのですか。

東学校教育副課長： 最近、人材がいなため要望が上がっていない状況もあります。

教育長： この評価は、配置が興津小学校だけですのでこれは努力すべきことなら、さらに充実させる必要があるというところにしかならない。

東学校教育副課長： 充実させる必要があると思います。

浜田教育次長： 要は、人材の確保に努める必要があるというところに尽きる問題ですので、そこは要望には対応し切れないという現状があるので、充実をさせるということかと思います。

教育長： 成果は、興津小学校のみですので、課題は全体的なところで、どうでしょうか。学習支援員配置事業という制度をうまく活用して人員確保の面からもできていないというところもあります。

佐々倉委員： より分かりやすくするなら、実施状況のところで何校か要望があり、何校しかできてないっていう書き方はどうですか。

教育長： 要は、学習支援員の人材確保が課題ということで、実施状況は興津小学校のみ、ここについては、そこも含め、実施状況と課題について修正をさせていただいて、ここは目標達成に向けてさらに充実させる必要があるというところにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員： はい。

教育長： 続いて、2番の、13ページです。校内研究体制の確立及び校内研究の活性化、1、地域教育推進事業、校内研究支援事業です。この件について、横山委員お願いします。

横山委員： コロナのことが書かれているので、なかなか計画どおりできなかったというのはある程度はわかりますが、予算要求額が昔はもっと多くて数百万あったと思います。これはコロナが今年も流行が心配されてるので県外研修や、そういったことを控えた計画で出てきているのか分からないんですが、要望がゼロという学校もあるのではないのでしょうか。

教育長： 予算を400万組んでいましたが、これは実績です。

横山委員： コロナでやめた結果ですか。

教育長： やめた結果です。

横山委員： 最終的に補助額がこの結果ということですね。

教育長： そうです。

横山委員： すみません。そういう理由があるので、本当は希望的なことも入れて、自分は目標達成に向けてさらに充実させる必要があるへ丸をしています。仕方がない面もあるか

も分かりませんが、執行した補助金は最終的にこれだけ出したというので分かりました。

教育長 : 令和2年度も予算額400万に対して各学校から要望が300万で出てきた上で、コロナの影響があって、実質、84万の実績になります。コロナの影響が特に去年もあったわけですが、研修にあたって工夫を図る必要もあるというところから、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価でいかがでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 次、2番、県学校支援訪問等連携支援のところで授業改善プランです。坂本委員お願いします。

坂本委員 : 成果のところでは生徒の学力向上につながるものとなっていますとありますし、目標は達成しているということで、その結果、課題で訪問要請が多くなっていると捉えて、概ね目標は達成できたというところでは。

教育長 : ここも学校によって訪問の要望の件数もまちまちのところもありますけども、中部教育事務所の訪問依頼が増えてますし、学校での校内研修には取り組んでいますので、概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、3番、学校経営の充実、(1) 定例校長会、14ページになります。この件について、佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員 : 概ね目標は達成できたでいいと思います。

教育長 : 定期的な校長会等も含め行っております。概ね目標は達成できたというところで評価をさせていただきたいと思います。

2番の学校運営協議会についてです。この件について、岡委員お願いします。

岡委員 : それこそ運営協議会、コミュニティ・スクールを増やそうとしているのか、そこら辺が明確とまではいかないかもしれませんが、やっているところはエールだけでいいのかなどか。その辺がどうかと思います。やっているところは目標は達成できているとは思いますが、町として、教育委員会として2校だけをやっていく、課題にもあるように負担感を感じてしまうと、またそれもそれなので。取り組んでいる学校としては、いい結果がというところで、概ね目標は達成できたにします。

教育長 : 目的のところでは成果は米奥、影野しか今、行ってないところでは。学校地域協働本部的なところの、もっとその辺からコミュニティ・スクールを町として進めていくのかどうか。

岡委員 : 両輪に必ずしていくという方向性なら、もうちょっと頑張れよとなる。

生涯学習課長 : 県の動きとしても、両輪として進めてくださいと、学校支援地域学校協働本部の補助要件の中にもコミュニティ・スクールをやっていることというのが、だんだん色合いが濃くなっています。政策誘導的にはそっちの方向です。ただ、2つの組織をつくらせて運営していく、メンバーは一緒なので、そこら辺が、組織として統一して何かできるという形になったら、もっと前向きに進むのかなというところでは。

岡委員 : 地域のメンバーが決まってくる。

教育長 : なかなか、これも地域の協力が得られないとできないところでもあります。コミュニティ・スクールは米奥と影野のみです。先ほど生涯学習課長が言われたように、地域学校協働本部との両輪で、地域学校協働本部もコミュニティ・スクールが要件とされつつありますので、その点も踏まえ、教育委員会としても進めなければならないとこ

ろですが、なかなか難しいところもあります、地域によっては。2年度の成果として2校だけですので、一定の取組が継続されているというところで、概ね目標は達成できたという評価でいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、4番、小小・小中連携推進協議会、1、小小・小中連携推進事業というところで、14ページから15ページになります。これについて去年は、協議会の下、進めておりますが、ここは目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという項目で自分は評価をしたいと思っておりますが、ご意見ございませんでしょうか。

佐々倉委員 : 課題を書くときに、設定ができていない状況がありますというのは、その理由も書く必要があると思います。この場合はなんでなんですか。コロナのためという注意書きもないので。先生同士の日程が取れないということなのか、事務局が忙しいということなのか。

教育長 : 昨年、コロナの状況と日程調整が難しかったと両方です。工夫をしなければならないということですね。

佐々倉委員 : そうですね。そこで目標が大事になってくるのかなと思うんです。これを評価するときにも、教育のレベルアップと学力の向上を目指すために必ず全教職員が集まる必要はないんじゃないかなという考え方もあると思っていて、例えばオンラインで講師の内容を全員が把握するであったり、情報交換を行うとか、代表教員だけがその場に出るということでも、学力向上を目指せないことはないんじゃないかなと思う。何を目標と年度初めにしておいて、それができたか、できなかったかっていう評価をすべきかなと思います。

そこに全員出る会議を設定しておいたならば、この課題の書き方であり、その評価になると思うんですけども目標の設定の仕方が大事です。

教育長 : そうですね。ここについても、成果の文面等について修正もさせていただきますが、何をもって連携がしっかり図られるかどうかの物差し自体のところの不透明なところもあります。特に窪川中学校と窪川地区の小学校との部分がまだまだかなというところもありますので、ここは目標の達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただいた上で、文章を修正させていただきたいと思います。

横山委員 : 成果の2つ目にこれは連携事業の目的からすると内容が弱いのかなと思います。別のところに書く機会があったら。町営塾の塾長の講演で、研修をしたんですよ。見てないので内容が分からないんですが、連携事業からしたら内容がどうなのかなと思いました。それで自分も、目標達成に向けてさらに充実させるというところに丸をしました。

教育長 : ただ単なる連携協議会、研修会ではなく、本質的な連携、教育につながっているかどうかの視点で見ていかないといけないと思います。ここについては修正をさせていただきます。

ここで小休します。

(小休止)

教育長 : それでは、会議を始めます。15ページ5番のICT機器の利活用、1、ICT教育推進事業です。この点について、横山委員お願いします。

横山委員 : 課題からして、2番目の目標達成に向けてさらにのところに丸をしています。

- 教育長 : 目標達成に向けて充実させる必要があるという評価ですけど、ご意見ございませんでしょうか。この点については。
- 2番目、GIGAスクール構想の推進です。坂本委員どうでしょうか。
- 坂本委員 : これは、目標達成には努力を要するっていうところにしてます。
- 教育長 : 目標達成には努力を要するということですね。
- 横山委員 : 自分は、目的から言えば、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるんですが、1つ目は、ほぼ達成できた、概ね達成できたのところになっています。環境整備は結構、やっているんじゃないのかと思いました。
- 教育長 : 物自体の整備は進みましたが、いろんな影響で個別設定などがあって、2学期からの使用、国の補助金活用もあって3年生以上にしか整備できていないというのが現状です。さらに端末機器の操作についても研修会は最近2回行いましたけども、去年度でするので、そこまでしかいっていなかったというところで、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただきたいと思いますけど、よろしいでしょうか。
- 全委員 : はい。
- 教育長 : 次、6番、開かれた教室、学校、教育委員会、1、学校評価ですけど、佐々倉委員どうでしょうか。
- 佐々倉委員 : 概ね達成できたでいいと思います。
- 教育長 : 各学校で評価を進めていただいたと思います。概ね目標は達成できたという評価でいきたいと思います。
- ②、特別支援教育の推進、就学指導事務についてです。岡委員どうでしょうか。
- 岡委員 : 概ね目標は達成できたと思います。
- 教育長 : 就学指導事務についてですけど、概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思います。
- 続いて、特別支援教育の推進、特別支援教育支援員配置事業についてです。成果についてもですけど、要望に基づいて配置は令和2年度もさせていただいております。支援員さんの教育的な専門的なもの、スキルについてはいろいろあるかと思いますが、学校配置については、概ね目標は達成できたというところで評価させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
- 全委員 : はい。
- 教育長 : 2番、巡回相談等活動支援についてです。横山委員お願いします。
- 横山委員 : 例年どおり、概ね目標は達成できたでどうでしょうか。
- 教育長 : 概ね目標は達成できたという評価にしたいと思います。
- 3番、特別支援教育就学奨励研究事業についてです。坂本委員お願いします。
- 坂本委員 : 概ね目標は達成できたでいいと思いますけど。
- 教育長 : 概ね目標は達成できたという評価にしたいと思います。
- 続いて、③、支援を要する子ども、家庭等への支援、教育相談活動の拡充、教育相談員活動です。この件について、佐々倉委員どうでしょう。
- 佐々倉委員 : 継続的なものがあると思いますが概ね目標は達成できたでいいと思います。
- 教育長 : 継続が重要だと思います。概ね目標は達成できたという評価でしたいと思います。
- 横山委員 : すみません。1のところ、先ほどの課題の2番目で、20歳以上というので間違いないんですか。
- 岡委員 : 以上、それから先への連携が必要という、以上でいいのではないかなと思います。

横山委員： そこまでやるということですか。

岡委員： 先へつなげるところまでということですか。

横山委員： つなげるとこまでやるということ。大体20歳未満まで、ここ、すごく進んでるので取り組みをやっているじゃないですか。

岡委員： 未満までで、そこで20歳になったら手を離れてしまうので、そこで支援が途切れないようにという意味だと解釈しました。

横山委員： 分かりました。

教育長： 教育相談員活動として20歳未満、その先へつなぐということの重要性を課題として挙げております。

続いて、2、スクールカウンセラー活用事業、県指定事業です。この件について、岡委員をお願いします。

岡委員： 配置自体はできていると思います。ここもカウンセラーの個々の力量にもよるので、ただ、教育委員会としては、目標は達成できたでいいと思います。

教育長： 概ね目標は達成できたというところの評価でしたいと思います。中身は中身でいろいろありますが、活用はしているということですか。

続いて、要・準要保護就学援助です。19ページです。この件についても、概ね目標は達成できたというところで評価をしたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： 奨学金です。横山委員をお願いします。

横山委員： 評価は、概ね達成できたにしております。若干、課題のところでは返還が滞ってるとか、そういう引き続き催促する、促すみたいなの、そこは課題として書かないといけなかなと思いましたが他の課題はないのでしょうか。

教育長： そこも事務局のほうで必要であれば修正をさせていただきたいと思います。課題とすれば広報とか周知、まずは、そこがどうあっていくかがあろうかと思えます。滞納案件については、ここで取り上げる課題かどうかについて事務局でも協議をして、概ね目標は達成できたというところで評価をしたいと思います。

続いて、2番、教育支援センターの効果的運営、不登校児童生徒への対応支援、1、教育支援センター運営企画についてです。20ページになります。坂本委員をお願いします。

坂本委員： 課題が継続的な家庭への支援とかあると思いますが、概ね目標は達成できたでしょうか。

岡委員： 私は課題のところでは十分できてない、成果がどうのこうのじゃなくて、それまでのつながりのところまでの課題とかがあるように見えたので、さらに充実、この課題の書き方を見てですが。

横山委員： 課題とか重要性から考えたら、2つ目のところに丸をします。

教育長： 教育支援センター運営企画のところですか。ここの文章の表現であれば、もう少し充実をさせる必要があるのではないかと、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるというところで評価、どうでしょうか。

全委員： はい。

教育長： ここも文章、表現の仕方にもよりますが、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるというところの評価にさせていただきたいと思います。

3番、各機関との情報共有、連携活動体制等の強化、スクールソーシャルワーカー活用事業、県指定事業です。この件について、佐々倉委員さん、どうでしょう。

佐々倉委員： さっきのお話と重なるところもありますが、多忙な中、すごくご苦労いただいているのも、子どもたちの状況を見てると、あまり満遍なく十分に行き届いてますとはまだ、というのは難しいかなというところがあって、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるにしました。

教育長： 他、ご意見ございますでしょうか。この件については佐々倉委員のご意見がありましたとおり、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるというところで評価をさせていただきたいと思います。

続いて、(2) 子ども支援ネットワーク活動です。この件について、岡委員お願いします。

岡委員： これは主体的にやる事業でもないですし、これが必要なのかとは言われんけど。

教育長： ここが、なぜ。

岡委員： 構成するメンバーでもありますし、いろんところで実際は動いているところがありますので、それでいくと、達成できたと言っていいのか。それこそ、結果が伴わないことでも、やったら達成できたでよければ、概ね目標は達成できたになるのかなと思います。なかなか結果が伴うというのは厳しいし、難しいです。

教育長： この案件については、要対協自体の部署というか、教育委員会が主体で行うネットワーク事業であればですが、ここの評価自体に上がるのか。

岡委員： 評価をしていいのか。

浜田教育次長： 項目自体は関係があるといえばあるので、ただ、主体的に動くのではなく、成果にある子どもをとにかく対象に支援できたまでしか書けないのかなと思います。情報共有と確認を行いましたでいきたいような気がします。

岡委員： 動きとしてはやっていると思いますが、それを成果として。本当はやっていますよというところていくと、子どもとの関係の支援はしていたので、動いているみたいなのという気がします。

教育長： ここに上げるとするならば、今言われたように、他機関との情報共有と現状把握を確認できたというところですかね。

岡委員： 日程調整とかいうのは、こちらの問題じゃないので、それをやるのは事務局ですので、記載はいいかなと思います。

教育長： 成果と課題について、もう一度、事務局でも修正をさせていただきます。概ね目標は達成できたという評価にさせていただいた上で、文言の修正をさせていただきます。

④、豊かな心と体を育む教育の推進、人権教育の充実です。ここについては各学校独自に発達段階に応じて取り組んでいただいているということもありますので、概ね目標は達成できたというところにしてますが、ご意見ございますでしょうか。評価自体は概ねにさせていただきます。

全委員： はい。

教育長： 2、教育福祉人材交流事業です。これも2年度は実施をいたしました。横山委員お願いします。

横山委員： 概ねで丸にしております。

教育長： 概ね目標は達成できたという評価でさせていただきます。ありがとうございます。

続いて、1、食育の充実と推進。坂本委員お願いします。

坂本委員： 達成できたにしています。

教育長： 食育の充実と推進、概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

全委員： はい。

- 教育長 : 続いて、2番、学校給食センター運営です。これについて、佐々倉委員どうでしょう。
- 佐々倉委員 : 概ね目標は達成できたでいいと思います。
- 教育長 : 概ね目標は達成できたというところできたいと思います。
続いて、23ページです。道徳教育の充実です。岡委員どうでしょう。
- 岡委員 : 概ね目標は達成できたでいいと思います。
- 教育長 : 高知の道徳教育を推進していただいていると思います。概ね目標は達成できたというところの評価にしたいと思います。
2番、学校図書館支援員の配置です。図書館支援員は、窪小・窪中のみへの配置です。先ほどの学習支援員のところで配置自体の要件で、この2校だけということですね。他の学校に配置ということは事務局としては考えてないと、現状では窪小、窪中のみへの配置というところであれば成果等もありますので、概ね目標は達成できたという評価にならざるを得ないですが何かご意見ありましたらお願いします。
- 岡委員 : 補助事業ではない。
- 東学校教育副課長 : これは一切なしです。
- 教育長 : 単費で、窪小、窪中に配置された支援員が他の学校に、交流といいますか支援ですね。
- 岡委員 : 支援ができてますよね。小さい学校、ごく小規模は分かりませんが、先生の数が限られている中で図書のほうまで手が回らない。現実的に、大きいところが必要なのも分かりますが、小さいところも自分としては必要かなと思うので、配置が2か所だけで充実ができていくかというところで、自分としては、さらに充実させるにしています。
- 教育長 : どうでしょう。学校図書館支援員が他の学校へ、はたまた町立図書館の職員が学校図書館の、いろいろな方法があろうかと思います。まだまだ充実させていく必要があるというところで、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただいてよろしいでしょうか。
- 全委員 : はい。
- 教育長 : 次、4番、国際理解、環境教育の推進、外国語指導助手活用事業です。この件について、横山委員お願いします。
- 横山委員 : 課題のところでは2学期からというのがありますけど、概ねに丸をしております。コロナが明けてから、また充実した取組をしてALTを確保する力を入れていかないといけないとは思いますが。今回は、概ねに丸をしております。
- 教育長 : コロナの状況からALTも来れない状況でした。令和2年度ですが概ね目標は達成できたというところでの評価でよろしいでしょうか。
- 佐々倉委員 : 一昨年ぐらいだったと思うんですけども、学校訪問したときに先生が、ALTと教員の間で授業をつくっていく中で、教員が主体で授業をつくった上でALTにどこに、どういうふうに入ってもらえるかサポートを依頼するのが組み立ての流れだけれども、結構、ALT任せになっている教員が多くて、先生が骨組みをしっかりと作った上での相談という流れがなく、当日、ALTの先生に投げるみたいなことが多いというのが学校訪問のときに言われてらっしゃって。私はその流れも知らなかったのですが、もし、課題とか成果のところでは分析するのであれば、先生とALTが、本当に教員が活用し切れているのかみたいなソフト面も入れていただいたほうが、目的には沿うかなと思います。

教育長 : 何年か前ですね。

佐々倉委員 : 多分、3年前ぐらいです。

教育長 : 今はALTも担任も連絡も取ってやってるはずですので、ALT任せということはないはずです。

横山委員 : 教員主導ですね。

教育長 : 5、6年生が教科になりましたので、そこはないです。以前の外国語活動とか、そんなところではないかと思います。

英語教諭の年数にもよりますし、うまく活用できる場所もありますので、その課題もあろうかと思います。

評価のほうは、順調にいったらと思いますので、概ね目標は達成できたでよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、5番、体力の向上と学校保健教育の徹底、1、中学校部活動等補助金です。岡委員をお願いします。

岡委員 : 目標は達成できたでいいと思います。

教育長 : 概ね目標は、達成できたという評価でさせていただきますと思います。

続いて、2、体力運動能力等調査実施、分析。ここについてですが、調査で体力面の各学校で指導改善につなげていっていただいていると思います。概ね目標は達成できたというところの評価にしたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

岡委員 : すみません。成果のところでは一番最初の分析、町全体の強み弱みを把握しましたですよね。課題のところでは各学校で強みが異なるため、町全体で統一的な対策を行うことができないというのは、相反し過ぎじゃないでしょうか。把握したとき統一的にできるかといえば、それはまた度合いが違うのではと思いますけども、ここに並べて見るとどうかなと思いました。

教育長 : 成果は町全体で把握はできたと、課題についてはということですね。

横山委員 : 統一的な対策をするというのは、なかなか難しいですね。

佐々倉委員 : 書き方ですね。

浜田教育次長 : 弱みについては、対策をすると書いたらいいでしょうか。

教育長 : 各学校での取組を強化していくところ、文言を修正させていただきます。概ね目標は達成できたでよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、6番、ふるさと教育の推進です。横山委員さん。

横山委員 : 概ねでどうでしょうか。課題のところでもありますけど、これは当然、違いは各学校であるので、概ねにしております。

教育長 : 各学校で地域によって全く取組も違うところもあります。概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきますと思います。

2番、ふるさと教育の推進。坂本委員をお願いします。

坂本委員 : 概ね目標は達成できたにしていますけど、いかがでしょうか。

教育長 : 概ね目標は達成できたという評価でさせていただきます。

続いて、⑤、乳幼児・児童生徒の安全確保の充実で、26ページです。佐々倉委員をお願いします。

佐々倉委員 : 概ね目標は達成できたでいいと思います。

- 教育長 : 学校施設の整備、概ね目標は達成できたという評価でさせていただきたいと思えます。
- 2番、学校施設改築等計画についてです。岡委員お願いします。
- 岡委員 : これは、計画策定が目標となるのかその辺が2年度に策定で先ほどいただいたように、できてますよね。できたっていうところで、そこから先はそれに基づいて計画的にやっていくことになってくると考えたら、概ね目標は達成できたかなと思います。
- 目標は、計画策定なのかなと思ったところで、目標は達成できたと思います。
- 浜田教育次長 : 今の段階では計画までというところで、これから先、計画に基づいてやっていくことが出てくる。
- 教育長 : これについては、計画策定をしたというところで、概ね目標は達成できたという評価でさせていただきます。
- 佐々倉委員 : この資料のほうに29年度の東又小のプールと30年度の興津と載っているのがそうですか。
- 東学校教育副課長 : 計画策定の執行額です。
- 教育長 : 現在の実施状況は、その前に計画はありましたか。29年、30年度は前の計画に基づいて、こういうふうに行ったけど、3年度以降やるのに2年度に策定したということですか。29年度に東又プール、30年度に興津中学校の屋内運動場の解体と書いているのは、これは計画に基づいてやったということですか。
- 東学校教育副課長 : 実際、長寿命化計画のような計画ありませんでしたが、建築年数等で計画的に安全性の確保のために改築等を行っています。
- 教育長 : 令和2年度に作ったというところで、3年度以降に目指す、こちらの資料というところにさせていただいたらと思います。
- 続いて、3番、遊具の安全確保ですが、これについては継続して行っておりますので、概ね目標は達成できたという評価にさせていただきたいと思えます。これは年次計画に上げた。
- 東学校教育副課長 : 年次計画ではなく、遊具の安全点検です。
- 教育長 : 遊具の点検と安全確保ということですね。
- 東学校教育副課長 : 安全確保は、年に1回の点検に基づいて、危険箇所については順次、修繕や撤去、再設置と対応しています。
- 教育長 : 令和2年度は、点検したものを年度内に実施ができていないものもあるので、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるというところでどうですか。
- 佐々倉委員 : ちなみに乳幼児の安全確保の充実の中の項目ですけども、学校だけでいいんですか。
- 教育長 : ここは学校だけになっている。保育所等については、遊具の安全という項目はないですね。
- 佐々倉委員 : 保育所の遊具は点検してないということになりますか。
- 教育長 : 保育所は管理運営の中で点検をしていますか。
- 林生涯学習課長 : 毎月、所長が主導で点検した報告を提出してもらっています。
- 岡委員 : 専門業者が点検してですか。
- 林生涯学習課長 : それは、毎年はできていない。
- 教育長 : ⑤に乳幼児とあるので、この点について、学校では児童生徒の安全確保になりますので、ここも修正、検討案件にさせていただきます。
- 岡委員 : ここで乳幼児に関わるわけではないのですか。
- 教育長 : 遊具の安全確保のところに学校施設ですのでね。

林生涯学習課長： 関連すると言えば、メンバーに入っているのは通学路の安全確保という項目で、そこにかろうじて。基本的に子どもたちだけで保育所は通園することはないですが、親御さんが一緒にいても通学路については一緒に確認をするっていうスタンスにはなっています。

佐々倉委員： ここも各学校となっています。

教育長： 学校施設となって、遊具の安全確保、今は学校だけの遊具ですよ。これを最初の乳幼児をどうするのか。ここを学校に入れるのか含め、特定するのか。

林生涯学習課長： 学校教育に関することなので省いても別にいいのではないのでしょうか。

佐々倉委員： 緑林公園とかはどうなりますか。

林生涯学習課長： 緑林公園の公園は建設課です。

教育長： 3番、遊具の安全確保については学校施設だけですので、そこも含め見直しをさせていただきます。評価は、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるというところでさせていただいたと思います。

(4) 通学対策です。横山委員お願いします。

横山委員： 大きな支障がないんじゃないかなというふうに考えたので、概ね目標は達成できたというようにしております。細かい部分で把握し切れてない部分もあるのでどうか。

教育長： スクールバス等の通学対策については一定、目標は達成できているというところで、概ね目標は達成できたというところで評価させていただいてよろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： 5番、通学路の安全確保について、坂本委員お願いします。

坂本委員： 目的で合同点検を実施し、必要な対策を検討、実施しているところについては各学校からですよ。各学校からは、状況はきちっと報告されているかっていうところが気になるんですが。

教育長： 課題もありますけど、応急な対応ができるかどうか。

坂本委員： いろいろな塀とか、それから東又でしたら裏道を通って、通学路が決まっても別の道からとか、いろいろなそんなの徹底ができているかというところを詳しく分からないので、きちっと把握して、それを学校側が点検をしてると、概ね達成できてるということではしています。

教育長： 協議会の開催、それから関係者の合同点検は実施している。次の改善の打ち手に対していろいろ課題はありますがどうですか。

坂本委員： それで達成できてるっていうところでどうでしょうか。

岡委員： かつこ書きのところだけでいうといいと思います。

教育長： 点検の実施できています。自己評価、概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思います。

続いて、28ページ、防災教育推進事業です。佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員： 学校ごとにいろいろあると思いますけれども、概ね目標は達成できたでいいと思います。

教育長： これについても、概ね目標は達成できたという自己評価でさせていただきたいと思います。

続いて、学校適正配置計画、見直し及び実施、学校適正配置推進事業です。28から29ページになります。岡委員お願いします。

岡委員： 表記のことで成果の3つ目の北中のところですが、年度末には一定の理解を得ることができました、理解を得たという表記ですが、最初の総合評価では決定したと表記

をされてますが、一定の理解で決定したとは、言えば契約じゃないけども、何かを交わして決定をしたのか。概ねの感じで、全戸配布、文書を配布したという表記がどこかにありましたが、それでOKをしたのか、その辺が自分としては疑問に思ったところです。事業の評価としては、概ね目標は達成できたでいいと思います。

浜田教育次長： 本部会の統合の決定は同意とか、もらえる状況じゃなかったの、一方的にこっちが決定しています。

本部会で決定したので、決定を受けて事後説明みたいになりましたが、統合に向けて、子どもたちのために動くしかないという保護者の理解をもらったということで、書きにくいのです。

教育長： ここは、岡委員が言われたように、成果のところを整理をする必要があるのかと思いますので、簡潔に直します。

岡委員： 総合評価のところでは、本部会で決定したとかいう表記ないですよ。ここに、本部会で決定したか、それを決定として、あと保護者、地域に説明して了解を得たというところにするでしたらここにそれがあつたほうがいいのではないかと思います。

教育長： 昨年5月に興津中と窪中は予定どおり統合と、北中と大正中、1年延期しますと本部会で決定したわけですよ。

岡委員： 2ページに書いている総合評価のところ、本部会で決定したという表記はないですよ。これは言えば、本部会で決定をして、事後に説明会、親のほうも同意を得たので決定したということでの記載、それを統合の決定ということで、そこから先、異論がなかったら決定したになりますね。

浜田教育次長： 本部会では、1年の延期を決定し同意を待たずに、やると決めて、説明していく中で、やるのならしょうがない、やる方向で調整をしていく、協議をしていかないといけないという理解をもらったということで、細かいことを書きにくい。

教育長： 興津中学校は統合して閉校となって、北中については、本部会の1年延期をもとに説明等を行って理解を求めたぐらいで、成果になる。

浜田教育次長： ただ、最後、一定、理解をしてもらっていいですかと確認しています。保護者が集まった中で。進めていきますと確認をしています。

岡委員： それでいくということですか。

浜田教育次長： そのときに強い反対もありました。

岡委員： それは100%ということには当然、難しいと思うので。3月25日に地域に、3年4月に全戸配布の文書でお知らせをしたで決定ということですよ。

浜田教育次長： 教育長が言われたように3つ目の点は短くしてみようかと思います。

教育長： 整理をさせていただいて、課題は、今度、小学校についてですが、令和2年度に中学校については、目標は達成できたかなというところでよろしいですか。

全委員： はい。

教育長： (2)生涯学習に関することです。これについてはいろいろな要件ありました。社会教育施設、コミュニティ施設開放、各種教室等は、制限はありましたけど、達成はできたというところで、概ね目標は達成できたというところにしたいと思いますが、どうでしょうか。

全委員： はい。

教育長： 高齢者地域活動事業、シルバー大学です。横山委員お願いします。

横山委員： 概ね達成できたでどうでしょうか。

教育長： シルバー大学についてもいろいろ制限はありましたけど、概ね目標は達成できたと

いうところでもよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 3番の人権教育関連事業です。坂本委員お願いします。

坂本委員 : 課題はありますが、概ね目標は達成できたというところです。

教育長 : これについても、概ね目標は達成できたという評価でもよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、(4)国際交流事業です。佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員 : 概ね目標は達成できたでいいと思います。

教育長 : これについても、概ね目標は達成できたという評価にさせていただきたいと思えます。

(5)各団体等への支援、30から31ページになります。岡委員お願いします。

岡委員 : 概ね達成できたと、しかないです。

教育長 : これについても、概ね目標は達成できたというところの評価にさせていただきたいと思えます。

②、スポーツ、レクリエーション活動の推進、施設開放、生涯スポーツ推進についてです。31から32ページになります。これについても、題目のとおり推進もしており、工夫して開催もさせていただいたところもあります。概ね目標は達成できたという評価にさせていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : ここの成果のところ、もう少し簡単でいいかないうところもあります。

32ページ、全国発信スポーツ大会の開催です。横山委員お願いします。

横山委員 : 課題からして、運営にあたる人が少なくなるというのはすごく今のコロナの状況にしても、いろいろ課題があるので、人員が少なくなる、運営にあたる人が少なくなるというのは少し心配な面があって、そこらあたりの改善を図っていく必要があるんじゃないかということで、2番目の目標達成に向けてさらに充実させるというところに丸しています。

教育長 : 今後の運営の人材確保もあれですけど。さらに工夫や効率化が必要ではないかというところもあって、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価ですが、どうでしょうか。

佐々倉委員 : いいと思います。

教育長 : よろしいですか。

全委員 : はい。

教育長 : 3番、各種関係団体の活動振興、活性化の推進、生涯スポーツ団体等支援です。坂本委員お願いします。

坂本委員 : 目標は達成できたというところです。

教育長 : 生涯スポーツ団体等への支援です。概ね目標は達成できたというところの評価ですが、よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : ③、郷土文化の継承と創造、国・県・町文化財活動です。32、33ページです。佐々倉委員どうでしょうか。

佐々倉委員 : 課題をどう捉えたらいいかなと思うところもあるんですけど、可能な範囲内では、概ね目標は達成できたでいいと思います。

教育長 : どうでしょうか。課題で充実や計画的に取り組まれていない課題がある。

林生涯学習課長：文化財、町内140、150、町指定の文化財ありますが、その管理が十分かといえ、それは決して十分とはいえないという背景もあります。それから、最近では昨年、文化財ではないですが、昭和の民具館も壊しました。それから、今年度については、中平家屋敷も壊していくということで、必ずしも十分に保存しているかといえ、そうではなくて、見直しも図りながらというところもあるので、こういう表現でいいと思います。

教育長：文化財の登録、活用、保護活動、補助金等々でいろいろ事業を実施しておりますが、課題は課題で挙げられております。これについて、どうでしょう。概ね目標は達成できた、まだまだ充実させる必要がある、なかなか難しいところです。

岡委員：管理台帳はないんですか。

林生涯学習課長：一応、町指定の文化財の台帳というか表があって、それに基づいて管理はしています。必ずしもそれが全て町の持ち物ではないので、個人の持ち物であったり地域の持ち物であったりとかいう所有権の問題がいろいろあったりして、実際、傷みがあっても持ち主、所有者が保存とか修繕が必要であるところにしないと、なかなか手を出しにくいところが文化財の場合はあります。

岡委員：文化財管理台帳の作成ができてないのかなと、これを読んで思いました。

林生涯学習課長：そういう台帳はありますが、個別に1枚1枚カードにしてとかいうような台帳とかいうものは、カルテみたいなものはありません。

岡委員：そういう意味での管理台帳ですね。

教育長：一定の成果も上がりつつ、かなり大きいところの課題が出てきていますが、どうでしょう。

佐々倉委員：2番目でいいと思います。

教育長：2番目の、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただきたいと思います。

続いて、2の重要文化的景観保護活用事業です。岡委員お願いします。

岡委員：課題のところ、法に基づいてしないといけないというのが、どこまで周知ができているのか。公共的な事業者なら、もちろんでしょうが、周知が必要でずっとところは積極的にやっていただくということですが、現在のところはできているということで、概ね目標は達成できたでいいと思います。

教育長：意識的なところの薄まりもあるので、もうちょっと充実させると言いますか、やる必要があるのではないかとこのところで、保存活用の分野では、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただきたいと思います。

全委員：はい。

教育長：続いて、2、町伝統文化の継承支援、郷土資料館の管理運営、これについても現状では現状維持が精いっぱい、季節ごとの活用もさせておるということで、概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

全委員：はい。

教育長：④、芸術文化活動の推進、図書館・美術館等の充実等、34ページから35ページになります。横山委員どうでしょうか。

横山委員：詳しく成果や課題が書かれております。課題とか利便性のこととか出てますけども、今後の期待とかも考えて、目標達成に向けてさらに充実してほしいというのがあって、2番目の評価にしています。希望と期待があって、さらに充実してほしいと思います。

教育長：横山委員からありました、図書館・美術館に勤務している職員さんは頑張ってやっ

ていただけてますけども、期待を込めて、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価ですが、ご意見ありましたらお願いします。

林生涯学習課長： 現状で満足すると多分、新しい文化的施設の整備というところが乖離してくるのかなというところがあるので、課題はあるというほうが今後の動きとしてはやりやすいのかなと思います。

教育長： 2番目、達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただきます。

2番、文化的施設整備事業です。坂本委員お願いします。

坂本委員： これも先ほどと同じです。皆さんに理解を求めたいっていうところの思いです。

教育長： 事業の目的まではまだ道のりは長いですけど、そういうところも含め、目標に向けてさらに充実させる必要があるという評価にさせていただきますと思います。

続いて、⑤、子どもの健全育成の推進です。乳幼児期の養護及び教育の充実、36ページになります。佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員： 概ね目標は達成できたでよいと思います。

教育長： いろいろ課題はありますが、概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： 2番、委託等による保育の実施です。岡委員お願いします。

岡委員： 継続してずっとやっていかないかるところですし、概ね目標は達成できたでいいと思います。なかなか特別な支援が必要な児童の増加、これはやむを得ないことですし、実際、そこへ手厚いものができて増えたとしても、これはやっていくべくだと思います。

教育長： ここについても、概ね目標は達成できたという評価にさせていただきますと思います。

3番、多子世帯保育料等軽減事業、これについても、この制度に基づき支援も軽減事業行っておりますので、概ね目標は達成できたという評価にさせていただきますと思います。

(4) 幼児教育無償化についてです。横山委員お願いします。

横山委員： 概ね目標は達成できたにしております。

教育長： この点についても、概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

全委員： はい。

教育長： (5) 保育所等施設整備。坂本委員お願いします。

坂本委員： 達成できたというところです。

教育長： 概ね目標は達成できたという評価にさせていただきますと思います。

続いて、子ども子育て支援対策事業、38ページになります。佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員： 先に確認したいんですけども、課題のところの予算の中に設定できていない事業がありっていうことの意味が分からなかったんですが。

林生涯学習課長： これが何を指しているかというところ、自分としても分かりにくいところがあるのですが、生涯学習課だけの計画ではなくて、子ども子育て支援に関する学校教育課や健康福祉課、もちろん生涯学習課であったり全庁的な課題を挙げてまして、その1つ1つの項目に対して個別の施策が当てはまらないというところがあったりするので、こういう記載になっていると理解をしています。

佐々倉委員： 上の実施状況のところ、そういうニュアンスというのは分かる気もするんですが、もうちょっと下段のところの言い方がストレートなほうがいいかなと思いました。成果のところを見るにおいては、概ね目標は達成できたでよいのかなと思います。

教育長： ここも下のファミリーサポートセンターとの部分もあるので成果のところでもう一回、確認もしていただきたいと思います。

佐々倉委員： 成果のところを書くならば、推進にあたりましたというよりは、さっき言われていた、会議はこのぐらい、こういうふうに関係されましたってというのが明確でいいかなと思います。

教育長： この決算額2万3,950円は何ですか。

林生涯学習課長： 委員の報酬で進捗管理の対応を毎年やっています。

教育長： そのことを成果にも入れていただけたらと思います。会議を開催して確認しましたとか、成果と課題について事務局でもう一回、見直しをさせていただきます。概ね目標は達成できたという評価でさせていただきますと思います。

2番、子育て支援センター管理運営です。岡委員お願いします。

岡委員： 目標は達成できたでいいと思います。

教育長： 3つの地域にある子育て支援センター、概ね目標は達成できたという評価でいきたいと思います。

(3) ファミリーサポートセンター、これについても令和2年度に設立設置をいたしました。設置目的という、設置したというところで、概ね目標は達成できたというところで評価、よろしいでしょうか。

佐々倉委員： 持って帰って確認する前から思ってたんですが、これを書くのは事務局としての対応を今、評価しているということですね。委託によりサービスを提供をしましたとなるけども十和地域で利用者がゼロで、それをどこまで、それだけでもないと思うんですけど、どう反映させるとよいのかなと思っていて、さらに充実させる必要があるのか、どうなのかなと思うんです。事務局でできることという意味で言えば、それは向こうが分かることで、ちょっと違うかなと思ったりしています。

林生涯学習課長： 昨年7月15日に開所しましたが、昨年度の成果として、どこまで成果として上げられるのかというところの判断ですね。できたから良しにするのか、できてフルに活用して、ある程度、活用できてから良しにするのかというところで判断が変わってくると思います。一応、利用の状況については別紙の32ページの中に会員登録、依頼会員8で、援助会員が11人、情報会員3人の合計22人の会員で預かりが日中預かり3件、送迎3件、合計6件というような状況です。ただ、できたばかりで周知ができていないというところは否めない事実なので、そういうところも含めて、さらに充実が必要ですっていう考え方もある一定、ありかなというところはあると思います。

教育長： どうでしょうか。できたばかりで周知もありますし、本来もともと子ども子育て支援事業計画に基づいたファミサポなんですけども計画と実態にギャップがあるかも分かりません。まだまだ見直しといいますか、周知的なところが必要というところであれば、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価でもいいかなというところですが、どうでしょう。

佐々倉委員： 今年度以降、ニーズとか方向性みたいなところを再検討していただきたいという意味も含めて、さらに充実させる必要がある。

教育長： どうでしょう。さらに充実させる必要があるという項目の評価にさせていただいて

よろしいですか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、少年健全育成対策の推進、39ページになります。わんぱく学校です。横山委員お願いします。

横山委員 : 年々、児童数が減少しているというのがあります。参加者が大正、十和に限って少ないとかという課題もあります。対策を、内容の改善とかも必要じゃないかなというようなこともあって、2番目の目標達成に向けてさらなる充実というところにしております。原因とか分析とかも多分、してると思うので、参加しにくかったらどういふふうな手立てしたら参加できやすくなるかっていうことも、考えてくれるとは思いますが、再検討してもらいたいかなという希望も込めて、2番目のところに丸しています。

教育長 : どうでしょうか。令和3年度以降については見直しも含め取り組んでおるところで、創意工夫も必要でありますので、さらに充実させる必要があるという評価でよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、(2) 子ども会スポーツ少年団活動支援です。坂本委員お願いします。

坂本委員 : 課題もありますが、できる支援は少なくなってるってところありますけど、概ね目標は達成できたというところにしてあります。

教育長 : 概ね目標は達成できたという評価でさせていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、(3) 四万十町青少年育成町民会議との連携を佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員 : 評価が難しいと思ったんですが、課題の部分が、天候のためとはいえ、あらかじめ予測できたことでもあるのではないかと思うこともあり、他のところでも同じような文言があるので、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるにしました。

教育長 : どうでしょう。青少年育成町民会議自体は令和2年度末に解散をしたものです。書き方が、次に、課題としたら青少年地域活動事業全体へのつながりやさらに進めていく必要がありますとなったらいいのですが、文言を修正させていただきます。青少年育成町民会議は会議も開いて、できることはやって解散をさせていただきましたという意味合いも含め、概ね目標は達成できたというところでもいいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 次が4番、少年非行の早期発見と早期指導、青少年育成補導です。岡委員お願いします。

岡委員 : 子どもたちの姿を見ることがあまりなくなったということもあり、課題にあるようにここはかなり厳しい課題ですけれども、どう捉えていいのか。昔から言う非行自体はなくなってはいますけれども、家庭がどの程度の連携、協力ができているのかと、そこを考えると、さらに充実させる必要があるになるのかと思いました。

教育長 : 学校内だけでなく地域、家庭へも影響するような部分があります。表面には大きな事件、事故は出てきていませんので、それも補導センター自体が広がっていただいているところもあっての成果とは思いますが。ここでの評価がなかなか難しいですが、どうでしょう。

佐々倉委員 : 去年、センターにお話を伺ったときには、物理的な行動での補導は減っている。精神的なほうにかなり偏ってきているというお話があったので、その場合に目的を達成す

るために必要な手段がかなり変わってくると思うんです。巡回とか補導に回るということではなくて、むしろネットの中を確認したり、精神面を確認したりすることだと思うので、手段を考えていただきたいとか、やり方を変えていただきたいという意味でも、私も目標を達成するためにはさらに充実させる必要があると思います。

教育長 : ご意見ありましたとおり、時代の変化、意識の変化があつて工夫をしていただきたいという期待も込めて、目標達成に向けてさらに充実させる必要があるという評価でさせていただきますよろしいですか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、5番、各種関係機関、地区等の連携、放課後子ども教室です。これについては要望どおり設置もさせて、頑張つてやっていただいています。概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 次、成人式です。横山委員お願いします。

横山委員 : 同じく、かなり困難な状況であつたと思いますが、多くの人が参加できてます。目的からしても、概ね達成できたにしています。

教育長 : 成人式を実施いたしました。概ね目標は達成できたという評価でいいのではないかと思います。よろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、⑥、地域、家庭、関係機関との連携活動、子ども、家庭の生活習慣、地域の子育てです。強化学業です。坂本委員お願いします。

坂本委員 : 課題の中に、学校間で取組に差がありますとの記載がありますが、影野と七里については事業としてやられているのについての目標は達成できたと思います。

教育長 : 地域の子育て力強化学業については、各学校の要望に基づいて補助金ですか。

生涯学習課長 : 補助金ではなく、謝金を支払っています。

教育長 : これについては、予算額もありますが制限があるのですか。

生涯学習課長 : 全ての要望に対してお応えできているかといえば、そうでもないと思います。コロナ過で要望自体も少なかったところもあります。

教育長 : 概ね目標は達成できたという評価でよろしいでしょうか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、2番、家庭、地域の教育力の向上、学校支援地域本部事業、地域学校協働本部です。佐々倉委員お願いします。

佐々倉委員 : ここは、先ほどのお話と重なるところがありますが、設置できている、展開できていることで達成ができたかすべきなのか、コミュニティ・スクールとの両輪になってこそその意味もある気がするの、さらに充実させる必要があるのか、決め切れませんでした。

教育長 : これも前段でお話があつたとおりです。ほぼ全てには、設置されてますけども、学校運営協議会、コミュニティ・スクールとの両輪で進めていく方針ならば、そこに向けて努力は必要というところで、目標に向けてさらに充実させる必要があるという評価にしたいと思いますが、よろしいですか。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、⑦、学習環境の向上、拠点となる施設の拡充等、43ページです。岡委員お願いします。

岡委員 : 施設をかなり持っていると思いますので、その施設の課題である老朽化への対応等に

については順次、ここに書かれているとおりにやっていくしかないかなというところで、それと同時に四万十会館では突発的なことが結構起きたりして、どうしても予算的に無理なところもあるので、できれば、さらに充実させて欲しいところがあります。予算内で対応ができるところをやっていくということであれば、目標は達成できたになるかなと思ったところです。

教育長 : 生涯学習拠点施設の活用、安心安全な活用についての環境を提供はできているというところもありますし、どうでしょう。まだまだニーズに対応し切れてないところもあるならば、充実させる必要があるとなりますがどうでしょうか。

岡委員 : 利便性について利用者から要望は実際にあったりするんでしょう。

生涯学習課長 : 本当はたくさんの施設があるので、それはそれなりに要望というのがあります。新たな施設を造って欲しいという要望もあるし、今の施設を改善して欲しいという要望もあります。

岡委員 : 要望として、今回のオリンピックでそのうちスケートボードの施設を造って欲しいとなりだすと、すぐに対応ができるところではないので、順次というところで、概ね目標は達成できたでいいんじゃないかと思います。

教育長 : 現施設の有効活用についてはできてると思いますので、概ね目標は達成できたという評価にさせていただきたいと思います。

以上で点検評価の報告書のほうは評価できました。先ほどもありましたように、目的、事業の実施成果、課題についてはもう一度、事務局のほうでも見直しをさせていただきたいと思います。この件について、今後の進め方について、次長。

浜田教育次長 : 評価に1つ書き切ったもので作成したいと思いますし、ご指摘いただいたところについてはまた赤字で修正したところが分かるようにお示しをさせていただきたいと思います。次回に赤字のものをお示しをして、その場で修正をしてご決定いただけたらと思っていますが、いかがでしょうか。

岡委員 : 1か所確認をしたいのですが、総合評価で1ページの2段落目、今年度は一昨年度末から新型コロナウイルスの影響というところなんです、今年度はもちろん2年度ですよ。一昨年度末からって、30年度末からウイルスの感染症の影響はあったんですか。元年度じゃなかったですか。

浜田教育次長 : すいません、元年度末です。

佐々倉委員 : 今年度は2年度ですね。

教育長 : どうでしょう。これも事務局で見直しをさせていただいて、修正分を各委員さんに送らせていただきます。臨時の教育委員会は開催せず、次の9月の7日に決定をさせていただくという流れでいきたいと思います。修正案件をお送りいたしますので、見ていただいた上で、なおかつ修正をしたほうがいいというところがありましたら、お手数ですが教育委員会事務局にご連絡をさせていただくか、メールでやりとりをさせていただきながら、9月の定例教育委員会で決定をさせていただくというところで進めたいと思います。よろしくをお願いします。

全委員 : はい。

教育長 : 続いて、報告事項 ①適正配置計画について、説明をお願いします。

(次長より、報告事項 ①適正配置計画について、説明する。)

教育長 : 小中学校適正配置計画、主に小学校の適正配置計画の進め方、今後の推進について

推進本部会でこのように確認をさせていただきました。この運用方針に基づいて秋以降に各地域へ行って、また説明会等も開きながら周知、協議を進めていきたいと思えます。学校施設の改築等も予定されている地域もございますので、そこも含め今後の進め方についても合わせて協議に入っていきたいと思えます。この間の推進本部会での確認事項は以上です。以前から教育委員会でもお話もさせていただいたとおり確認をさせていただいたということです。何かございましたらお願いします。

佐々倉委員： これは報告事項で聞いたということは、オープンになるということですか。

教育長： 教育委員会で報告をさせていただいて、その後、議会への説明を行い、議会への説明後に公表をさせていただきたいと思えます。9月議会開会後にホームページや広報をさせていただけたらと思えます。本部会での決定、確認事項ですので、オープンにしてもかまわないと思えます。広報や周知文書については、議会後と思えますが、どうでしょうか。他、ございませんか。

全委員： はい。

教育長： 続いて、その他 ①保育所訪問について、説明をお願いします。

(事務局より、その他 ①保育所訪問について、説明する。)

教育長： 日程が決まり次第、早めにご連絡をいたしますのでお願いします。

林生涯学習課長： ただ、コロナの感染がものすごいですので、梶原の子ども園でクラスターが発生したように、四万十町でも万が一、そのような状況になったら、なかなか実施できにくいのかなというところは考えています。

浜田教育次長： 日程は、9月定例会までに日程を組んで、その後の状況で中止にするというふうにするかどうか。

林生涯学習課長： 一旦は、計画をしてというところになると思えます。

教育長： それから、高岡地区地教連のほうの人権サミットはどうなりますか。

林生涯学習課長： 人権サミットについては中止になったというところで報告を受けておりますので、人権部会に所属されている委員についてはお願いしたいと思えます。

教育長： 土佐市で開催予定の人権サミットについては中止というところという報告です。他、ございませんでしょうか。

全委員： はい。

教育長： それでは、本日は点検評価の修正、時間をかけまして申し訳ございません。次回が9月7日火曜日となります。

以上をもちまして本日の日程は全て終了しました。定例会を閉会をいたします。

(閉会)

9月の定例委員会予定 令和3年9月7日(火)

教育長： _____

署名人： _____